

## 町内2施設 林業遺産 追加認定



旧連合会事務所外観



旧連合会事務所2階廊下

吉野貯木場、旧吉野木材協同組合連合会事務所が、2016年度「林業遺産」に認定されました。奈良県吉野地域の吉野林業が、2014年度の「林業遺産」として認定され、続いて追加の選定です。「林業遺産」は、林業発展の歴史を示す景観、施設、跡地等、土地に結びついたものを中心に、体系的な技術、特徴的な道具類、古文書等の資料群にあたるものが選ばれています。今回選定された吉野貯木場は、昭和14年に開設され、貯木、市場、製材加工の機能を持つ吉野材集散基地としての地位を築き上げ、今日に至ります。昭和15年に完成した、旧吉野材木商業組合連合会事務所は、レトロな洋風建築の歴史的シンボルとして、貯木開設当時から吉野の木材産業を支え、現在も貯木に関わる人びとを見守っています。



旧連合会事務所2階大広間



原木市場での競りの様子

## 吉野町「日本で最も美しい村」講演会 小さくても輝くオンリーワンの 地域づくりを目指して



吉野町が加盟する「日本で最も美しい村」連合の講演会が6月18日、吉野町中央公民館で行われました。「『日本で最も美しい村』連合とは?～世界で広がる美しい村づくりから学ぶ～」と題して、NPO法人「日本で最も美しい村」連合・資格委員の山田泰司氏による基調講演が行われた後、山田氏と北岡町長の対談が行われました。

平成17年に発足した「日本で最も美しい村」連合は、素晴らしい地域資源を持つ美しい町や地区が「日本で最も美しい村」を宣言することで自らの地域に誇りを持ち、将来にわたって美しい地域づくりを行い、地域の活性化と自立を住民自らの手で推進することを支援する団体です。講演の中で山田氏は、人の生活の営みの中で形成されて来た景観や文化を、地域住民の自主的活動により、継続的に守ることの意義などを話しました。「日本で最も美しい村」連合の認定に関しては、5年に一度、資格審査があり、平成24年に宣言をした吉野町は来年が更新の年となり、吉野の原風景の保護や地域資源の活用について、私たち住民が高い意識を持って取り組むことが重要となりそうです。



吉野の地域づくりに関して対談する  
山田氏(左)と北岡町長(右)